

校長あいさつ

道祖土小学校 校長 板東 浩之

本校は、原山小、大東小、木崎小より分かれ、昭和50年4月1日、開校いたしました。今年度は、開校49年目を迎え、三世代にもわたる学び舎として地域に愛されている学校です。正門から続く「あいさつ通り」のわきにそびえ立つシンボルツリー「えのき」は昭和50年5月11日に植樹され、美しく凛とした立ち姿で子どもたちの登下校を見守ってくれています。また、その根元には、開校当初からの校訓「明るく 仲よく たくましく」が石碑に刻み込まれ、今もその教えが引き継がれています。さらに、「緑区お宝100選」に指定された「カ石」もその隣に置かれており、その昔、若者たちが力を競い合ったというこの「カ石」には、切磋琢磨しながらたくましく成長してほしいという地域の皆様の願いが込められているのでしょう。

また、本校は、保護者の皆様、地域の皆様のあたたかな見守りとご支援をいただき、地域ぐるみの活動がよき伝統となっています。「三世代ふれあい広場」「夏休みラジオ体操」「さいどっ子まつり」「どれみふぁさいどコンサート」など、さまざまな交流活動を展開して、絆を深めております。これはまさに皆様の本校の教育活動への大きな期待と捉え、感謝と共に身の引き締まる思いがしております。

ポストコロナの時代を見据え、ICTを学校教育を支える基盤的ツールとして導入し、学習の保障・学力向上を図るとともに、「さいたまSDGs教育」「さいたまSTEAMS教育」等の学びを推進する等、急速に変化を続けるこれからの社会を自分らしくたくましく生き抜く子どもたちを育む教育を推進してまいります。同時に、子ども一人ひとりの心に寄り添い、人と人との豊かなかかわりあいを重視した教育活動を進めます。

「さいどっ子」が本校のシンボルである「えのき」のようにたくましく成長し、道祖土小学校が「心のふるさと」として愛され続けることを願い、本校の教育活動に全力を尽くしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

